

髪のパサつき(毛髪ダメージ)対策「皮脂で髪の毛を保護する」

髪のパサつき(毛髪ダメージ)対策のポイントは、頭皮自ら分泌する皮脂で髪の毛を覆うこと。森海混は、従来の一時的になめらかさやうるおいを与えるトリートメントやヘアオイルとは違い、頭皮自ら分泌する皮脂で髪の毛が覆われやすい毛髪環境を作るといふ、これまでにない全く新しい発想でパサつきを繰り返さない髪の毛を目指します。

●パサつきの要因「シャンプーのし過ぎによる皮脂不足」

髪の毛のなめらかさやツヤ、うるおいなどは、頭皮から分泌される皮脂(膜)が毛先まで運ばれ、毛髪を覆うことで保たれています。皮脂が毛先まで行き渡っていれば、本来髪の毛はパサつきません。ところが、パサつく方の髪の毛では、主にシャンプーの継続使用によって皮脂を取り続けた結果、慢性的に皮脂が不足しています。

皮脂は、シャンプーやトリートメントに配合の合成界面活性剤やアルコールなどによって容易に流出しますが、通常流出後直ちに分泌を開始し、2-3日程度で元の皮脂量まで回復するといわれています。そのため、短期間の使用であれば、一時的にパサついても、パサつき続けることはありません。しかし、頻繁にこれらの商品を使って皮脂を取り続けると、皮脂分泌が追い付かなくなり、慢性的に皮脂が不足することで髪の毛全体がパサつくようになります。特に、石鹼を含むほぼ全てのシャンプーには多量の合成界面活性剤が配合されているため、シャンプーの継続使用がパサつきの要因となります。

また、トリートメントやヘアオイル、カラー・パーマ、ドライヤーのあてすぎも皮脂不足の原因となり、これらの継続によって、皮脂を取っては分泌することを繰り返すと、やがて皮脂を分泌する力自体が疲弊し、髪の毛がパサつくだけでなく、キューティクルが開いたり剥がれることで切れ毛やうねり、さらに頭皮も皮脂不足になることで、抜け毛・細毛・薄毛、頭皮の痒み、乾燥、ベタツキ、フケなど、様々な毛髪・頭皮トラブルにつながります。

●従来のパサつきケア「一時的になめらかさやうるおいを保つ」

トリートメント・ヘアオイル・コンディショナーなどで、不足している水分・保湿剤・油分などを補給し、髪の毛をコーティングします。使ったときは、なめらかさやツヤ、うるおいのある髪の毛になりますが、皮脂が不足したままのため、その効果一時的でしばらくすると再びパサつきが起こります。むしろ、シャンプーよりも脱脂力の強い合成界面活性剤(陽イオン界面活性剤)やアルコールが皮脂を取ったり(トリートメント・コンディショナー)、多量の油分が皮脂分泌を妨げるため(特にヘアオイル)、継続使用は傷んだ髪の毛を更に傷めることになってしまいますが、多くの方がこのことに気付いていません。

●森海混「皮脂分泌をサポート。パサつきを繰り返さない髪の毛に」

リノール酸を含んだ水と油がなじんだ弱酸性の膜が、皮脂(膜)の代わりとなり、傷んだ髪の毛の表面を覆います。合成界面活性剤をはじめ添加物を一切使わず、しかも含有する油分量も微量のため、皮脂を取り過ぎたり、皮脂分泌を妨げたりする心配はありません。

また、頭皮にもしっかりスプレーし、壊れた頭皮バリア(皮脂膜・角質層)を修復します。バリアのある頭皮を取り戻すことで、自ら皮脂を毛先まで運びます。トリートメント・ヘアオイル・コンディショナーを使ったときのようなツヤツヤ感やしっとり感を得ることはできませんが、パサつきのない、指通り・クシ通しの良さが持続する自然な髪の毛の美しさになるのが特徴です。

なお、一度剥がれたキューティクルは修復不可能となります。パサつきのない髪の毛を維持するためには、今ある傷ついた髪の毛をケアしながら、これから育ってくる髪の毛を、健康で美しく育てるという発想が大切です。森海混を頭皮にしっかりスプレーしてください。森海混は、キューティクルが備わった傷みのない、本当の意味での健康で美しい髪の毛を育てるために必要な頭皮バリアを整えます。

●パサつき(毛髪ダメージ)を悪化させないために気を付けること

ブラッシングをし過ぎない/洗いすぎない/洗髪時頭皮をゴシゴシしない/シャンプーを減らす・お湯洗髪を取り入れる/トリートメント・ヘアオイル・コンディショナーを減らす/カラーリング・パーマを当てすぎない(間隔を空ける)/ドライヤーを当てすぎない/プールを控える